

ベール品質等に関しどのような改善を望むか
 その実現のために必要な措置や各主体の取組はどのようなものか
 その場合どの程度改善するのか(3)

- 危険物・プラスチック以外の異物の低減
 - 必要な措置や各主体にお願いしたい取組
 - 消費者:プラスチック製容器包装以外のものを混ぜない
 - 自治体:収集または適合化の段階で危険物や対象外のもの除去する
 - 期待される改善効果
 - 選別作業員の作業環境の向上。
 - 設備の維持管理費、産廃処理コストの低減

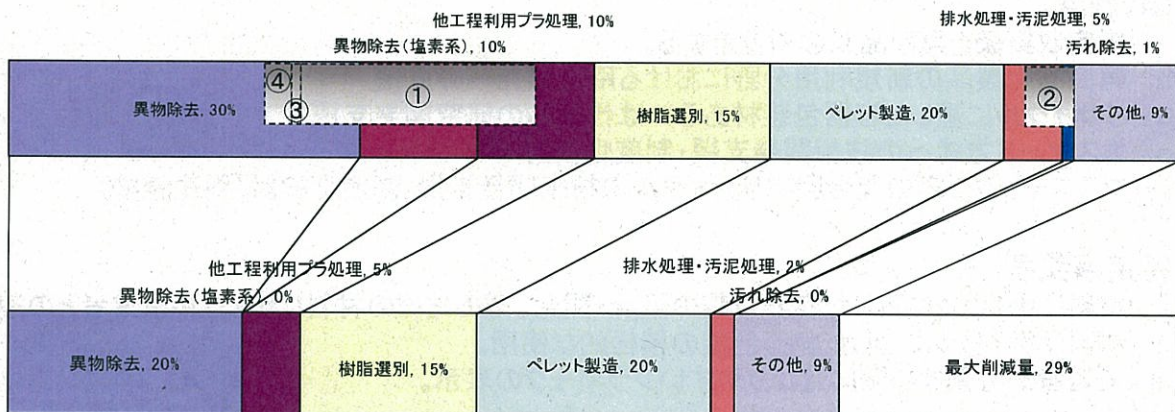
- 指定収集袋を対象とする
 - 必要な措置や各主体にお願いしたい取組
 - 制度:指定収集袋を再商品化の対象とする。
 - 期待される改善効果
 - 指定収集袋を対象としてベールに混合されることにより、
 収率とベレット品質が向上する。



設備の維持管理費
 産廃処理コストの低減
 処理費1%低減

収率1~3%向上
 処理費1~3%低減

ベール品質等に関しどのような改善を望むか
 その実現のために必要な措置や各主体の取組はどのようなものか
 その場合どの程度改善するのか(4)



改善項目	①塩素系樹脂・アルミ蒸着・アルミ箔・複合材の低減	②汚れ(食物等有機物や容器内残留物)の低減	③プラスチック以外の異物の低減	④指定収集袋を対象とする
低減効果	10~20%低減	3~5%低減	1%低減	1~3%低減
最大29%の処理費削減が期待できる				

材料リサイクルに適した容器包装プラスチックとはどのようなものか。
また、それは見た目で見分け可能か、それとも材質等に基づいた表示が必要か。

- **PO(PE、PP)、PS、PET、その他の樹脂が複合されていない容器包装**
複合材は樹脂毎に分離できないため、樹脂選別する材料リサイクルには適さない。
- **塩素を含まない容器包装**
再商品化製品、他工程利用プラの両方で塩素が阻害要因となる。
- **排出時に樹脂や素材別に分離・分解が容易な容器包装**
排出時に樹脂の種類ごとに分離・分解されていれば、再商品化施設で選別可能。
- **汚れが付着しにくい・容易に洗い落とせる・内容物が残らず取り出せる容器包装**
汚れが少ないと洗浄による環境負荷が減少する。
- **インクや顔料が少ない容器包装**
インクや顔料はペレットをグレー・黒色化し、利用製品が意匠的に制限される。
- **紙ラベル(シール)などが貼られていない容器包装**
紙ラベル(シール)は他工程利用プラ、又は破碎・洗浄過程で汚れとして取り除かれる。
- **プラスチック以外の部品を使わない容器包装**
ねじやばねなどの金属部品をプラスチック製にする。ねじやばねを使わない構造とする。

上記のような容器包装であれば、消費者は分別の際にプラマークの有無だけで判断し、分離・分解して排出してもらうだけでよく、樹脂選別は再商品化施設側で対応可能。

上記以外に、材料リサイクル手法の高度化に向け、
どのような主体にどのような協力を求めたいか。

- **国(制度)**
 - 指定収集袋を再商品化の対象とする。
 - 再商品化製品の新規利用分野における用途開発への支援
 - リサイクルに適した容器包装材あるいは代替品の研究開発支援
 - カスケード方式への技術開発支援・制度化検討
 - プラスチックごみの混合回収リサイクルの技術開発支援・制度化検討(別途議論)
- **特定事業者**
 - 材料リサイクルに適した容器包装の設計・開発、そのための材料リサイクル事業者との連携。
 - 材料リサイクルに適した容器包装の積極的な使用。
 - 消費者が分別する際に分かりやすいプラマークの表示。
- **自治体**
 - 容リプラ回収率の向上(適正な分別のための広報活動、収集頻度の向上など)